

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	開発学入門
科目基礎情報						
科目番号	0051		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	Economics Global Edition by Daron Acemoglu, David Laibson, John List, Pearson					
担当教員	芥川 一則,高木 信太郎					
到達目標						
①最適化と均衡の概念を理解する。 ②GDPの概念を理解する。 ③経済成長の概念を理解する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 最適化と均衡の概念を理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2 GDPの概念を理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目3 経済成長の概念を理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	実際の経済問題と関連づけながら、社会の動き、特に経済学の基礎理論を学習する。					
授業の進め方・方法	中間試験は授業時間中に50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点	基本的な経済用語の復習に十分努めること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	The Principles and Practice of Economics 導入(1)	経済原理とその実践		
		2週	Economic Methods and Economic Questions 導入(2)	経済的手法と経済的問題		
		3週	Optimization: Doing the Best You Can 最適化	最適化の概念		
		4週	Demand, Supply, and Equilibrium 需要と供給そして均衡	需要と供給における均衡		
		5週	The Wealth of Nations 国のGDP	GDPの概念		
		6週	Aggregate Income(1) 1人当たりGDP	一人当たりGDPの概念		
		7週	前半のまとめ	前半のまとめとこれまでの評価		
		8週	後半に向けて	前半の振り返りと後半の概要説明		
	4thQ	9週	Aggregate Income(2) 生産関数	生産関数の概念		
		10週	Economic Growth(1) 経済成長	経済成長の概念		
		11週	Economic Growth(2) ソローモデル	ソローモデル		
		12週	Why Isn't the Whole World Developed? 経済発展	経済発展と経済システム		
		13週	Employment and Unemployment 雇用と失業率	労働市場の概念		
		14週	Credit Markets 信用取引市場	名目と実質利子率		
		15週	前期のまとめ	期末試験の評価と前期のまとめ		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	1	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	4	
				課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	3	

				提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	2	
				経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	4	
評価割合						
			試験	課題	合計	
総合評価割合			80	20	100	
基礎的能力			40	10	50	
専門的能力			20	5	25	
分野横断的能力			20	5	25	